

社会人博士早期修了特別制度

1. 制度概要

「社会人博士早期修了特別制度」は一定の研究業績を有する社会人を対象とした、標準1.5年間で修了および博士後期課程の学位取得を目指す制度です。すでに社会人として有している研究業績（社会的成果等を含む）を、本学大学院学則の短縮修了規則※に定める「特に優れた研究業績」と認めることにより、博士後期課程の標準修業年限である3年間を、標準1.5年間に短縮し博士後期課程の学位取得を目指します。

なお本制度への所属は博士後期課程入学試験にて当制度に合格し、入学した学生のみを対象とします。それ以外の学生が入学後、当制度に所属することはできません。

※ 東京科学大学大学院学則第44条（抜粋）

区分制博士課程の修了の要件は、(中略) 在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年（修士課程又は専門職学位課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。

2. 参加コース

※2025年4月現在

系	コース
物理学系	物理学コース
システム制御系	システム制御コース
情報通信系	情報通信コース
経営工学系	経営工学コース
材料系	材料コース
応用化学系	応用化学コース
建築学系	建築学コース
土木・環境工学系	土木工学コース
イノベーション科学系	イノベーション科学コース
機械系, システム制御系, 情報通信系, 経営工学系, 建築学系, 土木・環境工学系, 融合理工学系	エンジニアリングデザインコース
機械系, システム制御系, 電気電子系, 情報通信系, 材料系, 応用化学系, 情報工学系, 生命理工学系, イノベーション科学系	人間医療科学技術コース
機械系, 電気電子系, 材料系, 応用化学系, 融合理工学系	原子核工学コース
建築学系, 土木・環境工学系	都市・環境学コース

3. 修了要件

本制度に所属する学生の修了要件は所属する各コースの博士後期課程標準学修課程と同一となります。(学修案内『III 各コース等学修課程』の所属コースをご確認ください。)ただし通常の博士後期課程標準修業年限(3年間)未滿で修了する場合、講究科目については修了年月の属する学期までに開講されている講究科目の単利修得をもって足りるものといたします。

※東京科学大学大学院の学院における学修に関する細則14条(抜粋)

博士課程を修了(以下この条において「短縮修了」という。)しようとする者の博士後期課程における「講究科目」の授業科目の単位修得については、(中略)当該者の修了年月の属する学期までに開講されている「講究科目」の授業科目の単位修得をもって足りるものとする。この場合において、学期の途中で当該課程を修了しようとする者については、「修了年月の属する学期」とあるのは「修了年月の属する学期の前の学期」と読み替えて適用することとする。

2 前項の短縮修了しようとする者が在学期間中に開講されていないために修得することができない「講究科目」の単位数については、(中略)当該者の博士課程の修了の要件としての54単位及び博士後期課程で修得する24単位から減ずることができる。

4. 「社会人博士早期修了特別制度」所属学生対象科目 ※本制度所属学生のみ履修可能

所属コースに本制度所属学生対象科目(下記一覧)が設置されている場合、本制度所属の学生は所属コースの該当科目を履修することが可能です。なお自らの所属するコース以外の本制度対象科目を受講することはできません。

○システム制御コース

科目区分	科目コード	科目名	単位数
研究関連科目 600 番台	SCE. Z671	システム制御コース社会人博士早期修了特別専門課題1-1D	0-3-0
	SCE. Z672	システム制御コース社会人博士早期修了特別専門課題1-2D	0-3-0
	SCE. Z673	システム制御コース社会人博士早期修了特別専門課題2-1D	0-3-0
	SCE. Z674	システム制御コース社会人博士早期修了特別専門課題2-2D	0-3-0

○材料系材料コース

科目区分	科目コード	科目名	単位数
専門科目 600 番台	MAT. A680	材料コース社会人博士早期修了特別専門課題1	0-3-0
	MAT. A681	材料コース社会人博士早期修了特別専門課題2	0-3-0

○応用化学コース

科目区分	科目コード	科目名	単位数
専門科目 600 番台	CAP. E643	応用化学コース社会人博士早期修了特別専門課題 1	0-3-0
	CAP. E644	応用化学コース社会人博士早期修了特別専門課題 2	0-3-0